

「高度医療・人材育成拠点基本計画」及び「県立安芸津病院耐震化対応基本構想」等
経営強化プランに関する補足事項

補足1 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

(1) 県立広島病院・県立二葉の里病院

計画期間中においては、引き続き、高度急性期・急性期医療の提供や地域の医療機関との連携等により、県民のニーズに対応した医療を提供します。

また、令和5年9月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本計画」においては、県立広島病院、県立二葉の里病院、中電病院、広島がん高精度放射線治療センターの統合による、医療資源の集約により、高度急性期・急性期医療を中心とした医療機能・医療人材育成機能・広島県の医療提供体制を支える機能の3つを軸とした病院を令和12年度に整備するとしました。

(2) 県立安芸津病院

人口減少・高齢化が進展する中で、医療資源が限られる地域に立地する県立安芸津病院は、民間医療機関の立地が困難な地域等における二次救急輪番制病院の一つとして救急医療体制を維持するとともに、一般医療、並びに救急・小児などの政策的医療を提供します。

また、地域の医療施設、介護施設、行政機関などと連携し、在宅療養支援の充実や予防医療の強化などを図ることで、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献する役割を担います。

一方で旧棟は建築してから50年以上経過しており、現行の耐震基準を満たしていないだけでなく、施設及び設備の老朽化が著しいことから、将来にわたって地域に必要な医療を維持し、地域住民の健康と暮らしを支える地域の中核病院としての役割を果たすためにも、持続可能性を念頭に置いた耐震化対応が必要となっていることから、その基本的な指針となる「県立安芸津病院耐震化対応基本構想」を令和7年2月に策定しました。

補足2 精神医療について

(1) 精神医療における果たすべき役割・機能

県立広島病院

自傷や身体合併症を有する症例あるいは身体的要因の緊急的鑑別を要する精神疾患患者、民間の精神科病院での受入れが困難な症例については、一般の精神科救急では対応が困難な方を含め、最終的な受入れ機関としての役割を担います（措置入院患者を含む）。

また、特に重症例や複雑な背景を持つ児童・思春期症例に対応するため、児童・思春期病床を整備し、受入れ体制の充実を図ります。

(2) 精神病床数(単位：床)

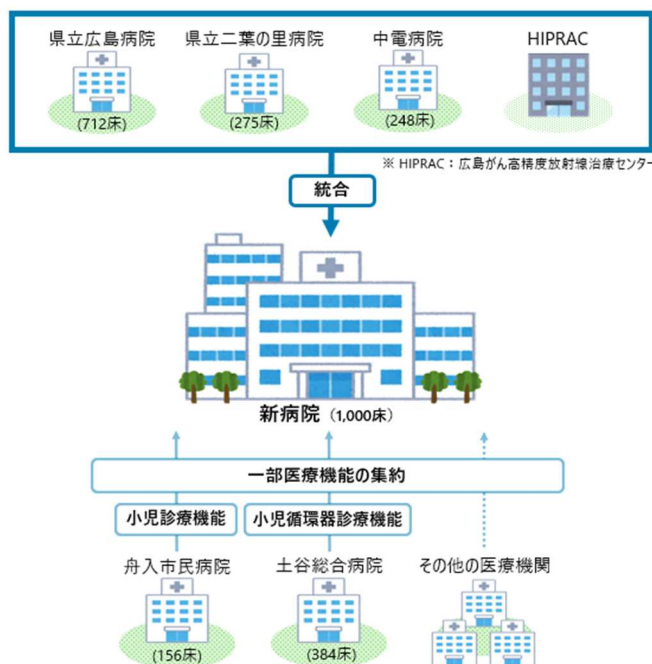
年度	広島病院
令和7年度～令和9年度	50

補足3 機能分化・連携強化

(1) 県立広島病院・県立二葉の里病院

広島都市圏に所在する県立広島病院、県立二葉の里病院、中電病院、広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）の4つの医療機関が一体となって、高度急性期・急性期医療を担う新病院の構築を令和12年度に向け進めます。

また、医療機能の再編による新病院の整備とあわせ、適切な医療機能の分化と連携による地域完結型医療を実現するため、将来的な医療需要を見据えた医療再編の方向性について、引き続き各関係者と検討を進めます。



(参考) 医療再編のイメージ図
 ※図は「高度医療・人材育成拠点基本計画」
 (令和5年9月策定) より抜粋

(2) 県立安芸津病院

県立安芸津病院では、周辺地域の人口減少に伴い、入院患者数も大きく減少すると見込まれます。将来患者数を推計した結果、一日平均入院者数は、耐震化対応完了時期の目安である令和11年前後には、約75人が見込まれるものの、開院10年目以降は60人を下回る見込みとなっていることから、安芸津地区の周辺医療機関との連携の下、入院患者を受け入れる体制を確保するとともに、耐震化対応方針として、60床規模の病床を確保することとします。なお、耐震化対応後も患者数に応じて病床規模を見直ししていきます。

また、耐震化対応後も、県立病院として地域医療をしっかりと担っていくため、救急医療体制を確保するとともに、内科、外科、整形外科、小児科など現在の診療科を維持します。

補足4 住民の理解のための取組

高度医療・人材育成拠点の整備にあたっては、県民の皆様から十分な理解を得ることが重要であるとの認識の下、これまで、ホームページ上での各種情報の公表、病院再編の影響が予想される地域の医療提供体制を検討する地域懇話会の開催、広島病院移転後の医療体制などに関するアンケート調査、医療職団体などとの意見交換、県民公開セミナーの開催などにより、県民の皆様とコミュニケーションを図ったほか、各種会議における検討状況について、県議会への報告・公表を行ってまいりました。引き続き、県民の皆様には新病院整備の意義や必要性について理解が得られるよう、コミュニケーションを継続して行います。

補足5 医師・看護師等の確保と働き方改革

【医師の確保育成】

新病院に求められる役割を持続的に担っていくためには、必要な医師をどのように確保するかが重要な課題となります。このため、新病院の円滑な運営に向け、広島大学・広島大学病院との緊密な連携、魅力的な初期臨床研修環境の整備、多彩な専攻医研修環境の整備などの方針に基づき医師の確保・育成を検討します。

【看護師・医療技術職の確保育成】

看護師、医療技術者について、県立広島病院、県立二葉の里病院、中電病院及びその他再編対象病院等から新病院への円滑な移行に向けて、新病院開院前から計画的な採用・交流及び必要な研修の仕組みづくりに取り組みます。

あわせて、充実した研修体制及び環境を構築することで、看護師・医療技術職の育成に努めます。

さらに、開院前から計画的な採用・育成を検討するとともに、多様な勤務形態を取り入れ、職員にとって働きやすい環境を整備するなど、人材の確保に努めます。

【働きやすい環境の整備】

職員がゆとりとやりがいをもって働くことができるよう、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革への対応など、働きやすい職場環境を整備します。

また、県立広島病院では、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律（令和3年法律第49号）第3条の規定に基づく改正後の医療法」第113条第1項等の規定により、令和6年4月1日に特定労務管理対象機関のB水準の指定を受けています。この特例水準は2035年度末までに解消を目指すことが求められていることから、労務管理の適正化やタスクシフト・シェアの推進など、病院全体で働き方改革に対応した体制の整備を進めます。

補足6 経営形態の見直し

【経営形態の見直しに係る記載事項】

地方公営企業法全部適用、地方独立行政法人、指定管理者制度の3つの運営形態について比較を行い、持続可能な病院経営を行っていくための仕組みや財源措置、それを支える効率的・効果的な病院の運営、医療機関との再編・統合による人員の受入れの面から地方独立行政法人による運営が最適であるとの判断したことから、令和7（2025）年4月に地方独立行政法人を設立し、県立広島病院、県立二葉の里病院及び県立安芸津病院の運営主体を統合し一体的に運営します。

補足7 施設・設備の最適化

【施設・設備の適正管理と整備費の抑制】

（1） 県立広島病院・県立二葉の里病院

新病院整備に当たっては、①全体工程への影響、②工事工期の短縮効果、③コスト縮減効果、④発注者（病院スタッフを含む）の意向の反映、⑤発注者の業務負担の5つの重要な視点からメリット・デメリットを整理した結果、ECI方式を想定し検討を進めます。

※ECI方式：施工予定業者が実施設計の段階から参画し、コスト縮減及び工期短縮が期待できる発注方式

（2） 県立安芸津病院

隣地での移転建替えを行う場合と、現地での一部（旧棟のみ）建替えを行う場合の2パターンについて、①工期、②コスト、③災害対策、④医療継続や収支への影響、⑤柔軟性・利便性の5つの視点により、比較検討した結果としては、隣地での移転建替えを行うプランが優位であると判断しました。

補足8 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等

勘定科目	R7 年度	R8 年度	R9 年度
	2025 年度	2026 年度	2027 年度
病院事業収益	40,780	42,313	43,144
営業収益	40,591	41,982	42,691
医業収益	36,600	37,933	38,527
運営費負担金収益	3,525	3,578	3,694
資産見返補助金等戻入	106	111	111
資産見返寄付金戻入	0	0	0
資産見返物品受贈額戻入	0	0	0
その他営業収益	360	360	360
営業外収益	173	318	434
運営費負担金収益	172	318	434
その他営業外収益	0	0	0
臨時利益	16	14	18
病院事業費用	42,849	43,044	43,926
営業費用	40,293	40,331	40,951
医業費用	39,870	39,905	40,523
給与費	19,037	19,284	19,458
材料費	9,955	10,458	10,769
経費	6,090	6,026	6,052
減価償却費	4,607	3,954	4,060
研究研修費	182	183	183
一般管理費	423	425	428
営業外費用	2,372	2,591	2,853
臨時損失	183	123	123
当年度純損益	▲2,070	▲731	▲783
資金収支	▲468	628	410
資金残高	238	866	1,276
繰入額	3,697	3,896	4,128

補足9 令和6年度 病床機能ごとの病床数（単位：床）

病院名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	総計
県立広島病院	481	117	20		44	662
県立二葉の里病院 (旧 JR 広島病院)		269				269
県立安芸津病院		98				98

※数値は「令和6年度病床機能報告集計結果」より抜粋